

渡良瀬遊水地連携捕獲協議会総会開催結果について

令和6年4月
栃木県環境森林部自然環境課

1 協議会の目的

渡良瀬遊水地は、茨城県、栃木県、群馬県及び埼玉県との4県にまたがる約3,300haの日本最大級の遊水地であり、多様な動植物が生息する生態系が形成されている。大部分が国指定の鳥獣保護区となっているほか、平成24年には国際的に重要な湿地としてラムサール条約に登録されている。

令和元年度には、イノシシの生息を確認するとともにニホンジカも目撃されており、周辺市町への出没や農業被害が発生しているほか、貴重な湿原植生が被害を受ける可能性もある。

このため、4県は令和4年4月28日に渡良瀬遊水地連携捕獲協議会を設立し、渡良瀬遊水地におけるイノシシ及びニホンジカ対策を広域で推進することとした。

2 令和5年度実施結果

(1) ドローンによる生息数調査

イノシシは全域で確認され、ヨシ焼き後の3月に834頭を確認した。

ニホンジカについては、ヨシ焼き後に調査区域の西部で3頭を確認した。

(2) センサーカメラによる生息状況調査

センサーカメラを25台設置し、すべての地点でイノシシの生息を確認した。

ニホンジカは全域で33頭確認した。

(3) わな猟による捕獲

くくりわな50基、箱わな10基を設置し、くくりわなで23頭、箱わなで5頭の計28頭のイノシシを捕獲した。ニホンジカの捕獲はなかった。

3 令和6年度実施予定

(1) ドローンによる生息数調査（令和6年11月～令和7年3月）

赤外線カメラを搭載したドローンを用いて、生息分布や頭数を調査する。

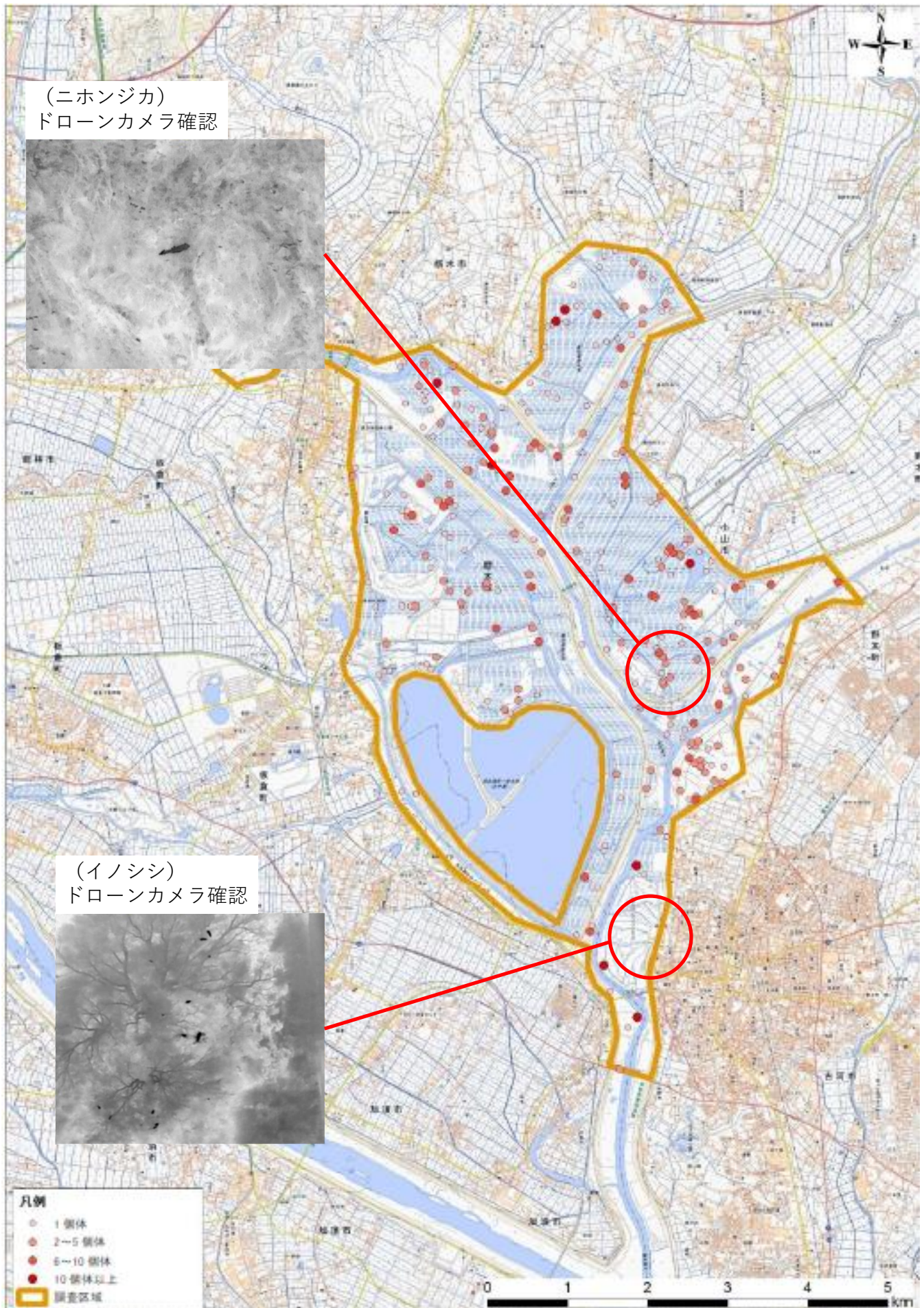
(2) センサーカメラによる生息状況調査（令和6年7月～令和7年3月）

定点に設置したセンサーカメラにより、分布や季節変動を調査する。

(3) わな猟による捕獲（令和6年11月～令和7年3月）

箱わな及びくくりわなを用いて捕獲を行う。

イノシシ及びニホンジカ確認地点
(イノシシ834頭 ニホンジカ33頭 (ドローン及びセンサーカメラ調査))



わな設置箇所及び捕獲頭数
(くくりわな50基、箱わな10基)
(イノシシ28頭捕獲)

